

アトム の 広場

Shimane Atomic Information

しまね原子力広報 1999.8

NO. 44



表紙写真:「神々の浜に立つ」(大社町)本多数弥

contents

目次

| | |
|----------------------|-------|
| 環境放射能調査結果のお知らせ | 2 ~ 3 |
| 島根原子力発電所の運転状況メモ | 2 |
| 温排水調査結果のお知らせ | 4 |
| 原子力関連施設見学会開催 | 5 |
| 3号機について「県民の意見を聴く会」開催 | 6 |
| 放射線なんでもQ&A | 7 |
| 原子力とぴくす | 7 |
| ふるさと昔ばなし | 8 |

島根県

環境放射能調査結果のお知らせ(1)

Shimane Atomic
Information
アトム広場



平成11年1月～3月分

お問い合わせ先 島根県環境政策課 TEL.0852-22-5278

今期の調査結果を検討・評価したところ 島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

空間放射線積算線量

各測定地点で熱ルミネセンス線量計により、約3ヶ月間環境放射線を連続測定したのですが、測定された放射線のほとんどがその地点の自然放射線によるものです。



島根原子力発電所の 運転状況メモ

1月～3月



2号機

定格出力82万kw

3月2日から3月3日まで制御棒分布の変更のため出力を一時下げたほかは、定格出力運転

1号機

定格出力46万kw

1月19日から第21回定期検査のため発電及び原子炉停止
3月30日定期検査終了

測定結果の評価について平成10年度からは、これまで使用していた「目やすレベル」にかえて、「前年度までの変動範囲」、「過去の変動範囲」を使用します。

「前年度までの変動範囲」と「過去の変動範囲」

「前年度までの変動範囲」……過去5年間の測定データの最小値と最大値の範囲。「過去の変動範囲」……H8.4～H10.3までの全データを統計処理した値の範囲。これらは、測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値に対しその原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無等を判断します。また、この範囲は人体に影響を及ぼすレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するための基準ではありません。なお、本誌においては範囲の上限値のみを記載しています。

環境放射能調査結果のお知らせ(2)

Shimane Atomic
Information
アトム広場



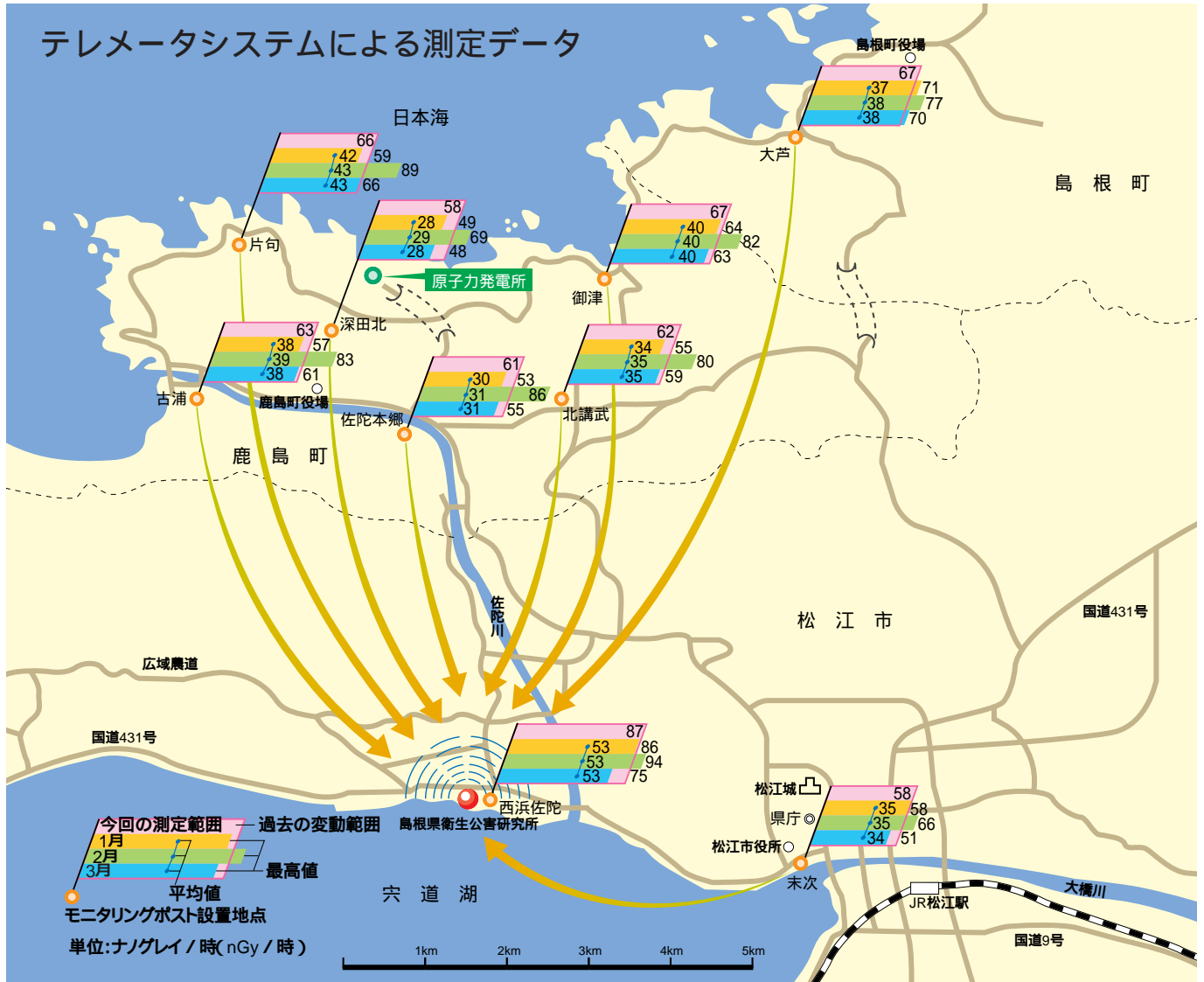
平成11年1月～3月分

お問い合わせ先 島根県環境政策課 TEL.0852-22-5278

空間放射線線量率

モニタリングポストにより測定した結果です。測定されたもののほとんどが自然放射線によるものです。過去の変動範囲を超えた値はいずれも降水によるものでした。

テレメータシステムによる測定データ



環境試料中の放射能

一部の試料から核実験などによるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

線スペクトロメトリーによる分析結果

| 試料区分 | 測定結果 |
|------------|------|
| 浮遊塵 | - |
| 牛乳(原乳) | - |
| 海産生物(なまこ) | - |
| 海産生物(さざえ) | - |
| 海産生物(いわのり) | - |

単位：浮遊塵 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 、牛乳 mBq/l 、海産生物 Bq/kg (生)
線スペクトロメトリー対象核種 牛乳： ^{131}I その他の試料： ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{58}Co 、 ^{60}Co 、 ^{137}Cs
「-」は検出下限値未満を示す。

ストロンチウム90測定結果(10～12月採取分)

| 試料区分 | 測定結果 |
|-------|---|
| ほうれん草 | ^{90}Sr が、 $0.25\text{ベクレル}/\text{Kg}$ (生)検出されました。 |



温排水調査結果のお知らせ

Shimane Atomic
Information
アトムの広場



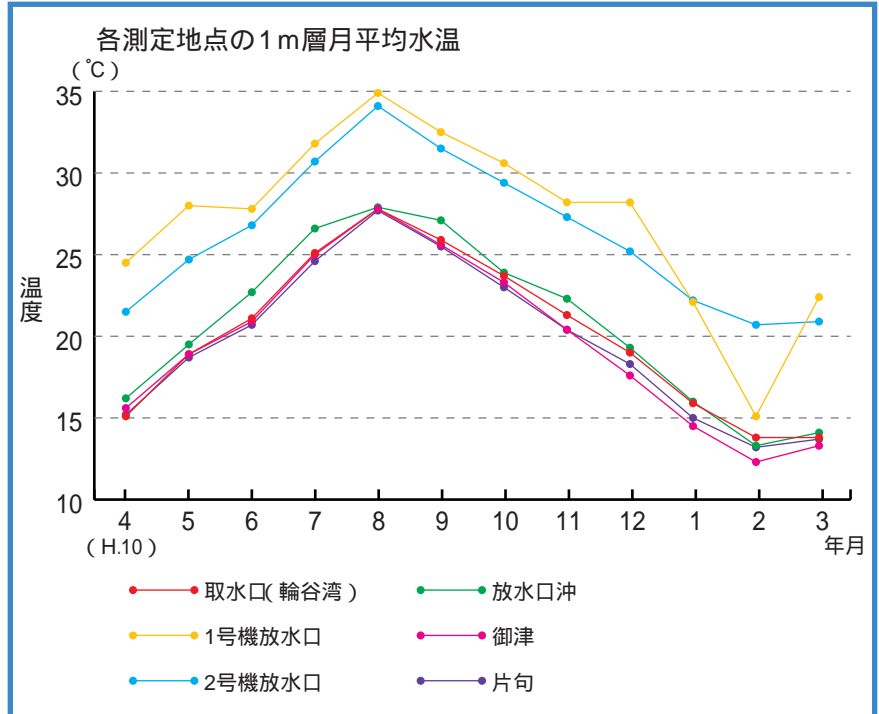
平成11年1月～3月分

お問い合わせ先 島根県漁業管理課 TEL.0852-22-5315

島根原子力発電所周辺海域の水温分布と水色を島根県と中国電力(株)が調べています。このほど1月～3月の調査結果がまとまりました。

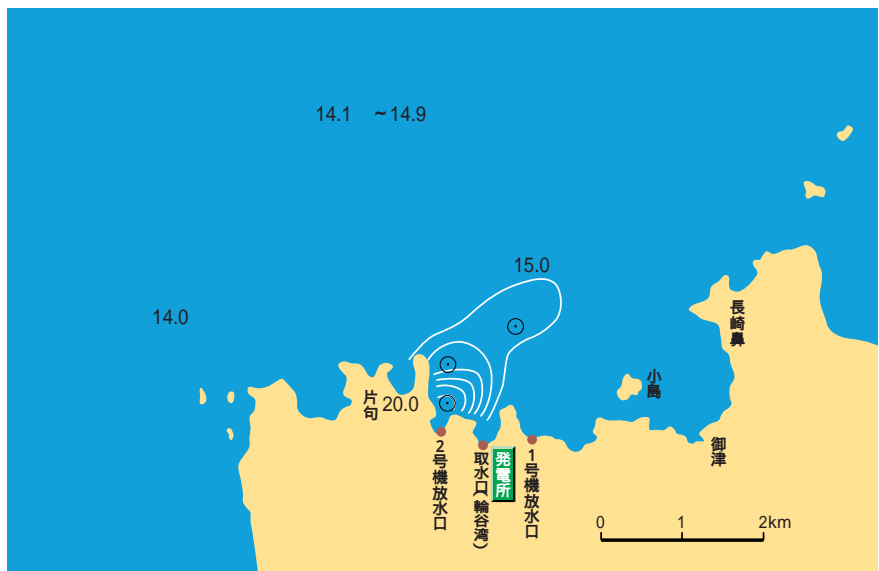
沿岸定点の水温 (1～3月測定)

1号機放水口の水温は、取水口の水温と比較して、1月は0.5～10.0 程度、2月は0.0～2.5 程度、3月は0.0～10.0 程度、また、2号機放水口の水温は、同じく1月は6.0～6.5 程度、2月、3月とも6.5～7.0 程度高めでした。



沖合定線の 0m層水温 (1月25日測定)

- 水温の分布状況は右の図のとおりでした。
- ：温排水の影響があったと思われる定点
 - ：等温線は1 間隔で示してあります。なお、1 未満の海域は水温範囲で示しました。
 - ：温排水の影響があったと思われる定点：
基準水温より1 以上高い水温
 - ：基準水温：沖合定線の中で最も沖合5定点の水深別平均値



海の色 (1月25日測定)

今期の測定結果は水色(番号)で表すと **4** で、特に変わりありませんでした。

| 観測場所 | 取水口付近 | 1号機放水口付近 | 2号機放水口付近 | 1号機放水口沖北 2000m付近 | 1号機放水口沖北 4000m付近 |
|--------|----------|----------|----------|---------------------|---------------------|
| 水色(番号) | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

(注) 水色とは、白昼海面の真上から肉眼で観察した海の色で、一般にフォーレルが考案した標準液と比較する方法で測定されています。標準液番号は1～11までがあります。

今まで観測されたこの海域の色は **2 3 4 5 6** です。

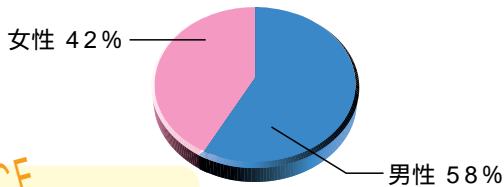
平成10年度 第4回原子力関連施設見学会が 開催されました。



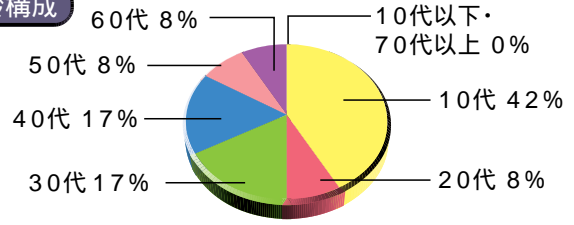
Shimane Atomic Information
アトムの広場
お問い合わせ先
島根県環境政策課
TEL.0852-22-5278

日時 平成11年3月25日(木) 9:00 ~ 17:00
見学先・内容 島根県庁県民室：環境放射線情報システム表示装置見学
島根県衛生公害研究所：放射能調査概要、放射線簡易測定、施設見学
中国電力(株)島根原子力発電所、島根原子力館：発電所内の見学

性別構成



年齢構成



VOICE

平成10年度第4回原子力関連施設見学会 参加者アンケート結果

環境放射線情報システムについて

県を挙げて放射能を測定して住民レベルの被曝量を測定、情報公開していることがよくわかりました。視覚的に説明してあり、分かりやすかった。これからも情報公開をすすめてほしい。こういうリアルタイムで情報を公開していることがなされていることを初めて知ったので驚きを感じた。

島根県衛生公害研究所について

大変な仕事をしていらっしゃるということがよくわかりました。SPEEDIの緊急システムで、地図の情報が古いのに驚いた。最新の情報の入力が必要ではないだろうか。研究所の内部の説明、又は人間の口の中に入る放射能についてよくわかった。監視体制及び機器システムの一層の充実を図る必要あり。(中電の努力や対応に比して格差がありすぎる) 地味だが重要な仕事をしていることがよくわかった。また、環境に関しては次々新しい問題が発生しており、これらに対応してゆくのは大変だと思った。身近な情報を提供してくれていることを知って親しみを感じた。地道な取り組みをなさっている。ここでわかった情報(例えばSPEEDI)はどのくらいの時間で緊急時に情報を民間へ提供できるのでしょうか?

島根原子力発電所について

至る所に説明用のパネルがあり、現地、構造がよくわかりました。何重にも安全面が考えられていて驚いたと同時に感心させられた。二重扉がすごかった。純水はすごくきれいだなと思いました。中電の努力の様子が大変よくわかりました。今後ともよろしくお願いします。(事故防止、安全確保) 大変厳重な整備をなさっておられるのを知って驚いた。

島根原子力館について

楽しかったし、わかりやすかった。自由に見学し、一つ一つの展示物をよく見る自由時間が欲しかったように思います。自由時間が欲しい。楽しかった。展示内容、見学者への対応 etc、大変良かった。温排水の展示。7月の温度差が思ったほど感じられないのが印象に残った。よく利用しているが、詳しく説明を受けて非常に良くわかり、理解できました。

その他

とても楽しかったです。もうちょっと自由な時間がほしかったです。原子力発電所内を見学することができ、人間の英知、安全対策に感動しました。今後増加する消費

電力を何によってまかなうか、CO₂排出量とも関連させて国を挙げて考えていかなければならないと思います。今回の見学会は、原子力発電とはどんなものか、その影響について常に中国電力と県が測定し続けていることがよくわかりました。原子力館がとても楽しかった。とても楽しかった。もっと自由時間がほしい。勉強になって良かったと思います。初めて参加しました。大変参考になり有意義な見学会であったと思います。県民の最大の関心事である安全管理について、企業及び行政当局の一層の努力に期待します。原子力発電所は閉鎖的なところかと思っていたが、現場をいろいろ見せてもらえて興味深かった。年間にどのくらいこういう会をされるのでしょうか? また学校へも案内がくるのですが、生徒に話したときにどのくらいの人数が参加可能か? また、休日などに実施される予定はないのか? 大変勉強になり、いい機会になりました。



説明に聞き入る参加者のみなさん

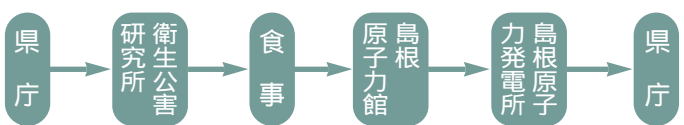
平成11年度 第2回原子力関連施設見学会 参加者募集

開催日時 平成11年8月26日(木) 9:00 ~ 17:00
見学先 島根県庁県民室(環境放射線情報システム表示装置見学)
(環境放射線測定結果や発電所の状況がリアルタイムで見ることができます。)
島根県衛生公害研究所
(環境放射能監視 放射線を測ってみませんか)
島根原子力館
(工夫をこらした様々な展示があります)
島根原子力発電所
(原子炉の上までいってみませんか)

【応募先】 島根県環境生活部環境政策課原子力安全対策係
TEL.0852-22-5278 FAX.0852-25-3830
Eメールアドレス: kankyo@pref.shimane.jp

応募の際には、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、連絡先電話番号を記入してください。
応募締め切り 平成11年8月17日(火)
県庁までは各自で集合ください。
駐車場があまりありませんので、公共交通機関をご利用ください。
発電所の見学に必要ですので、年齢、性別を必ず記入してください。

* 昼食は島根県が用意します。
* 大型貸し切りバスで移動します。



3号機増設計画について 「県民の意見を聴く会」を開催しました。



Shimane Atomic Information
アトムの広場
お問い合わせ先
島根県土地資源対策課
TEL.0852-22-6713

県では、平成9年3月に島根原子力発電所3号機増設についての申し入れを受け、県原子力発電調査委員会を設置し、約1年半にわたる審議を経て昨年12月に答申が出されました。

県としては、調査委員会の答申等については議事録を公開するとともに、インターネットのホームページや、県原子力広報紙「アトムの広場No.42」等において県民の方々にお知らせしてきているところです。

また、増設計画についての判断の参考とするため、県民の方々から知事へのファックス、インターネットの電子メール等により意見をいただいているところです。

これらの一環として、県では、3号機増設についての知事判断の参考にするため、また述べられた意見は今後の原子力行政に生かすため、直接県民の意見を聴く会を開催しましたのでお知らせします。

| | | | |
|-----|----------|----------|-------------|
| 日時 | 松江第1会場 | 5月28日(金) | 9:30~12:30 |
| | 松江第2会場 | 6月2日(水) | 13:30~16:30 |
| | 大田会場 | 6月4日(金) | 13:30~16:30 |
| 場所 | 松江第1会場 | 県松江合同庁舎 | |
| | 松江第2会場 | ホテル一畑 | |
| | 大田会場 | あすてらす | |
| 発言者 | 発言者総数60名 | | |

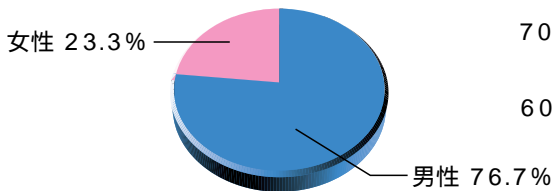


松江第1会場

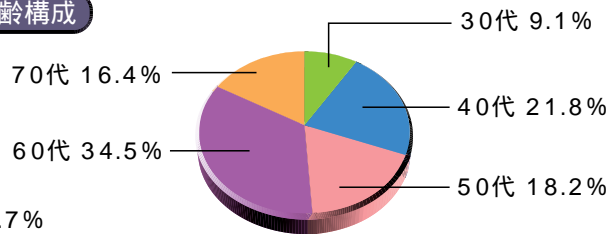


松江第2会場

性別構成



年齢構成



意見の概要

需給面について

- 県においても省エネ教育などに取り組んだ上で3号機増設には慎重な判断を望みたい。
- 新エネルギーが実用化される段階までの過渡期においては、原子力発電は必要不可欠と思う。

原子炉の安全確保について

- 原子力には潜在的な危険性があり、その取り扱いには慎重を期し、人命に影響する事故は絶対起こしてはならない。
- 動燃のような事故があっては、今まで築いてこられた信頼関係は一度に崩壊してしまう。

活断層と耐震安全性について

- 今回確認された活断層について電力会社の調査では、長さも地震の大きさも不明だというのが正確な状態ではないだろうが。
- 大地震が起きて、核暴走や炉心溶融といった事故が一瞬のうちに起きたら、どんなに訓練を重ねてもどうにもならない。
- 今回確認された活断層については、第三者機関による調査が必要である。

環境影響について

- 中国電力では、水温が1度以上上昇する範囲を温排水による影響範囲としているが、自然界では僅かな水温上昇が魚



大田会場

- 介類に何らかの影響を与えるのではないかと心配している。
- 電磁波を慢性的に被曝していると様々な病気の原因となる調査結果があるため、県においても電磁波の影響調査をして住民を電磁波から守る対策を講じて欲しい。

原子力防災対策について

- 行政においては、防災体制や環境対策の確立及び公正で迅速で一般にわかりやすい説明による全面的な情報の公開が必要である。
- 原子力災害が放射線によるという特殊性から専門の高度な技術判断を要するため、放射線の専門職員を採用して、事故発生時に実効性のある対策がとれるようにする必要がある。

地域振興について

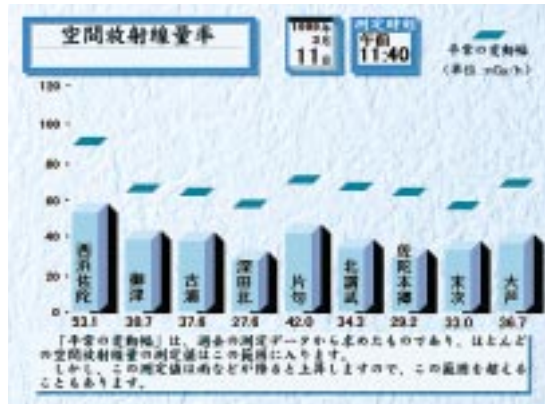
- 他に見るべき産業のない地域にあっては、地域振興の起爆剤としての期待は大きい。
- 箱ものの整備だけでは継続的な町の発展は望めない。産業を作り町の企業自ら知恵を絞って変わって行くことこそ必要なことだと考える。

その他

- 立地県と消費県間のエネルギー、原子力に関する意識格差の解消を図るため、相互理解を深めるための施策を講じるべきである。
- 県は民意の把握と反映に全力で取り組み、将来に禍根を残さぬよう更なる努力をお願いしたい。

モニ太とリングの

放射線なんでもQ&A



Shimane Atomic Information
 アトムの広場
 お問い合わせ先
 島根県環境政策課
 TEL.0852-22-5278

県ホームページ
 「環境放射線のリアルタイム表示」
 より(空間放射線量率)

Q 場所で放射線の量が違うけど、原子力発電所の影響なの？

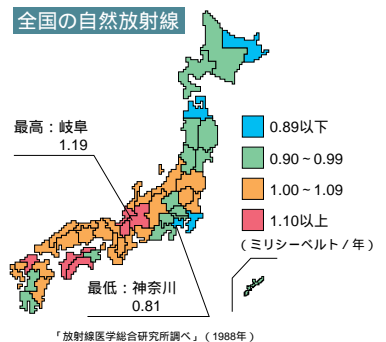
A 通常、測定している放射線は、ほとんど自然界の放射線です。自然界には大地からの放射線や宇宙から飛んでくる宇宙線という放射線などがいつも飛び回っています。宇宙線の量は緯度によって若干異なりますが、その差はわずかです。

しかし、大地からの放射線は、土壌中の放射性物質の種類と量によって異なってきますので、場所によってかなり放射線の量は異なります。全国の自然放射線量を調べた結果がありますが、それによると一番少ないのは神奈川県0.81mSv/年、一番多いのは岐阜県1.19mSv/年です。その差は約0.38mSv/年もあります。(この調査には、空間放射線量の

ほか、食物などから受ける内部被ばくも含まれています。) モニタリングポスト(ステーション)9カ所の測定値の違いも、その主な要因は地質

や地形の違いによるものです。

なお、通常、原子力発電所から放出されている放射性物質は微量であり、県の行っている監視で発電所の影響が認められたことは今までありません。



Q 発電所から離れている西浜佐陀が高いのはなぜ？

A 西浜佐陀で測定している場所は、花崗岩が風化してできた「まさ土」を持ってきて造成しています。花崗岩には天然の放射性物質が多く含まれていますので、風化してできた「まさ土」にも他の土と

比べて多くの天然放射性物質が含まれています。その影響で西浜佐陀が高くなっており、発電所の影響ではありません。

「まさ土」の中には、天然の放射性物質(ウラン、トリウム、カリウム 40)が多く含まれています。



原子力とびっくり

1号機第21回、2号機第8回 定期検査実施

島根原子力発電所1号機は、平成11年1月19日から実施していた第21回定期検査を同3月30日に終了しました。

定期検査は、電気事業法によりほぼ1年ごとに実施することが義務づけられた検査で、国により検査が実施されています。

今回の検査期間中には、法令で義務づけられている検査以外に 燃料の一部取替 ア

クシデントマネジメント対策工事が実施されました。

また島根原子力発電所2号機についても、平成11年5月11日から8月上旬までの予定で同様の検査等が実施されていますが、7月9日に発電が再開され、最終的な検査が進められています。

2000年問題対策実施

島根原子力発電所にある二つのシステム「監視系」と「制御系」のうち、「監視系」の

一部に2000年問題が生じる可能性があることが調査によりわかりました。

これらについては定期検査期間を利用し対策を実施するとともに、2000年問題に係わる日付の模擬データを入力することにより、関連する全ての機能に異常が生じないことが県、関係市町立ち会いのもと確認されました。

また通産省においても、対応状況は妥当であるとの中間とりまとめが発表されています。

大判が怖い話



かたりべさんが語る

ふるさとと蛇白ばなし

第1話

お父さんお母さん、お子様に読んであげてくださいね。

「とんとん昔があったげな。役者が巡業に出ていまして、母が病気になったりしたので、途中で帰らなければならなくなりました。」

「晩になって、七類（八束郡美保関町）のところを歩いていたら蛇が出てきました。飲んでしまつ」と言つ。

「今夜は許してくれ、明晩は必ず飲まれてあげる。母に目達つてから飲んでくれ」

「ほんなら、約束を違えずに明日の晩に来い」

「おまえの好きなものを土産に持つてこようと思うが」

「兎でも鶏でも何でもいい。生ものがいい」

「一番嫌いなものは何かい」

「煙草の脂が一番怖い。この池に脂が入ったら、わしは生きてはおられぬけん」

「ああ分かった。肉でも鶏でも持つてくるけん」。こう言う

「おまえは何が嫌いだか」「大判や小判が一番嫌いだ。これを見たら、寿命がなくなる」

「ああ、そげか」
「それでは明日の晩は必ず来るけん」

それから役者が帰つて、母に逢いました。そして約束通り行かぬと大蛇がどのようなことをするやら分からぬからと、煙草の脂を壺にいっぱい入れて出かけました。

「蛇殿、蛇殿、約束通り来たけん」とその壺を沈めたら、蛇は狂い回つて人を飲むどころではありませんので、役者はそのまま帰ってきました。そしてその

解説

八束郡八束町で聞いた話である。語り手は子地区の足立チカさん（明治二十七年生）である。昭和四十四年の七月にお宅へお訪ねしてうかがった。とても親切な方だった。初対面のわたしが弁当を食べようとしたら、さうと味噌汁を作つて出してくださったが、そのあじがったことは今でも忘れられない。
この話は、類話としては大同小異の内容で各地に分布しているので、読者もどこかで聞かれたことあるのでは。



「夕べはえらい目にあわせられたが、かたきを取りに来た。一番怖いものを持つてきやつたけん」と大判をザザッと投げ込んで、

「今度はこれが小判だぞ。一番怖いもんだらあが」と座敷いっぱいそれらを投げ込んで帰つて行ったということですよ。

何と言つても人間と畜生のことですから、人間が一枚上手だったのです。

かたりべ：足立ちか

再話・解説：酒井薫美

さし絵：福本隆男

